

『頭部外傷後の意識障害についての所見』 ご記入にあたって

○ 初診時の意識障害の有無、意識レベルスコアを以下のようにご記入ください。

1. 意識障害の有無、その推移についてご記入ください。

(1) 意識障害の有無・推移

初診時の意識障害なし

⇒ 来院前の意識障害 なし 不明

あり (救急隊から確認 問診にて確認)

※確認した内容を下欄にご記載下さい。

初診時の意識障害あり (JCS : 200 GCS : E 1 + V 1 + M 2 = 4)

経過中に意識障害が出現 (JCS : _____ GCS : E _____ + V _____ + M _____ = _____)

○ 意識レベルの推移について、JCSまたはGCSにて確認された内容をご記入ください。

経過 時間・日	JCS	GCS			
		E	V	M	計
初診時	200	1	1	2	4
6時間後		3	3	2	8
1日後	10				
3日後		4	4	5	13

○ 意識障害がある場合、意識清明になった時期について具体的にご記入願います。

(2) 上記の期間で意識障害が認められた場合

治療期間中、意識清明になった。

意識清明になった時期：(およその場合は(約)に○を付けてください。)

(約) _____ 時間後、(約) 5 日後、(約) _____ ヶ月後

(_____ 年 _____ 月 _____ 日頃)

退院時(転院時)、意識清明にならなかった。

○ 入院時昏睡の場合、簡単な命令に応じるようになった時期について具体的にご記入願います。

(3) 入院時昏睡の場合 (JCS : 30 以上、GCS : M ≤ 5)

簡単な命令に応じるようになった。

応じるようになった時期：(およその場合は(約)に○を付けてください。)

(約) _____ 時間後、(約) 1 日後、(約) _____ ヶ月後

(_____ 年 _____ 月 _____ 日頃)

退院時(転院時)、命令に応じなかった。

○ 外傷後健忘の長さについて具体的にご記入願います。

2. 外傷後健忘 (PTA) (本人が覚えていない期間) の長さについてご記入ください。

なし

あり：(約) 6 時間、(約) _____ 日、(約) _____ ヶ月 (およその場合は(約)に○を付けてください。)

不明

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ご参考 意識障害について

JCSについて	乳幼児意識レベルの点数評価
I. 覚醒している (1桁の点数で表現) 0 意識清明 1(I-1) 見当識は保たれているが意識清明ではない 2(I-2) 見当識障害がある 3(I-3) 自分の名前・生年月日が言えない	I. 刺激しなくても覚醒している状態 1. あやすと笑う。ただし不十分で声を出して笑わない 2. あやしても笑わないが視線は合う 3. 母親と視線が合わない
II. 刺激に応じて一時的に覚醒する (2桁の点数で表現) 10(II-1) 普通の呼びかけで開眼する 20(II-2) 大声で呼びかけたり、強く揺するなど開眼する 30(II-3) 痛み刺激を加えつつ、呼びかけを続けると辛うじて開眼する	II. 刺激すると覚醒する状態 10. 飲み物をみせると飲もうとする。あるいは乳首をみせれば欲しがって吸う 20. 呼びかけると開眼して目を向ける 30. 呼びかけを繰り返すと辛うじて開眼する
III. 刺激しても覚醒しない (3桁の点数で表現) 100(III-1) 痛みに対して払いのけるなどの動作をする 200(III-2) 痛み刺激で手足を動かしたり、顔をしかめたりする 300(III-3) 痛み刺激に対し全く反応しない この他、R(不穏)・I(糞便失禁)・A(自発性喪失)などの付加情報をつけて、JCS200-Iなどと表す。	III. 刺激をしても覚醒しない状態 100. 痛み刺激に対し、はらいのけるような動作をする 200. 痛み刺激で少し手足を動かしたり顔をしかめたりする 300. 痛み刺激に反応しない

GCSについて

「E__点、V__点、M__点、合計__点」と表現。正常は15点満点で深昏睡は3点。点数は小さいほど重症

開眼機能(Eye opening)「E」

4点：自発的に、またはふつうの呼びかけで開眼

3点：強く呼びかけると開眼

2点：痛み刺激で開眼

1点：痛み刺激でも開眼しない

言語機能(Verbal response)「V」

5点：見当識が保たれている

4点：会話は成立するが見当識が混乱

3点：発語はみられるが会話は成立しない

2点：意味のない発声

1点：発語みられず

運動機能(Motor response)「M」

6点：命令に従って四肢を動かす

5点：痛み刺激に対して手で払いのける

4点：指への痛み刺激に対して四肢を引っ込める

3点：痛み刺激に対して緩徐な屈曲運動

2点：痛み刺激に対して緩徐な伸展運動

1点：運動みられず

外傷後健忘 (PTA) について

重症度	PTAの持続
わずかな脳震盪	0～15分
軽度の脳震盪	15～1時間
中等度の脳震盪	1～24時間
重度の脳震盪	1～7日間
非常に重度の脳震盪	7日間以上